

岡山大学 アラムナイ Alumni (全学同窓会) 会報

Alumni

2015

Vol.2



contents

- 岡山大学 Alumni (全学同窓会) に寄せて.....2
- Alumni の事業.....3
- 第2回岡山大学 Alumni (全学同窓会) 総会・岡山大学ホームカミングデー.....5
- Alumni 支部からのお知らせ.....6
- アクティブ岡大人.....7
- 学生のサークル紹介.....9
- 岡山大学通信.....10
- 学部等同窓会からのお知らせ.....13
- 寄稿.....15
- 「岡大アラムナイネット」を開設しました！.....16

岡山大学 Alumni (全学同窓会) に寄せて

— Alumni の前進と鶴翔会 (医学部同窓会) の新たな動き —

小谷 秀成

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 副会長
鶴翔会 (医学部同窓会) 副会長

プロフィール

小谷 秀成 (こだに ひでなり)

岡山市出身、岡山大学医学部卒業後、第二内科入局。1966年 医院開業。

1986年 岡山市医師会長。2000年 岡山県医師会長、川崎学園理事、岡山県健康づくり財団理事長。2005年 岡山大学経営協議会委員、岡山大学学長選考会議委員。現在、岡山大学 Alumni (全学同窓会) 副会長、鶴翔会 (医学部同窓会) 副会長。



平成18年に誕生した岡山大学同窓会は、小長啓一会長、森田潔学長の方針を基に平成25年10月、Alumniとして組織を替え再スタートしました。即ち、岡山大学の知の営みに関与した全ての方々(卒業生、在学生、留学生、教職員等)を構成員としました。このことは既に総会、会報、或いは各学部同窓会等を通じてお伝えしていますが、十分周知されていないのが現状です。そこで、Alumniの活性化を図るためにAlumniの支部設置を進めています。昨年は東京支部と愛媛県支部が結成され、この他、名古屋、大阪、高松、広島、福山にも設置を検討中です。各地区でのご協力を切にお願い申し上げます。

さて、平成26年度のAlumniの事業は、ホームページの整備、岡大アラムナイネットの導入、支部活動支援、学生支援(グローバル人材育成支援、就職活動支援)、ホームカミングデイ支援の実施、会報およびニュースレターの発行等、一層の充実がみられました。

また、鶴翔会については、医学部と一体となつて医学部創立150周年記念事業が着々と進められており、卒業生をはじめ多くの個人・団体から基金へのご芳志をいただいています。平成25年11月には福武教育文化振興財団のご寄付により医学部正門近くに「Jホール」が完成しました。地域に開かれた大学を目指す岡山大学として、このホールは内外の多くの団体に利用され大変好評です。

なお、鶴翔会の法人化問題が喫緊の要事になりました。鶴翔会事務局は現在、岡山医学会、鶴翔会、岡山大学関連病院長会、岡山大学医師会の4つの任意団体の業務を担当していますが、公益法人制度改革(平成20年)により、任意団体として続けることについて社会的な制約が生じています。そこで、平成27年4月より4団体は、鶴翔会を母体とした1つの法人になることを目指しています。

最後になりましたが、岡山大学並びにAlumniの更なる発展を祈念致しております。

Alumniの事業

平成25年10月に設立されたAlumniにとって、平成26年度はスタートアップの年となりました。始動した各種事業の中から、2つの事業についてご案内とご報告をいたします。



支部活動活性化支援事業

昨年、岡山大学Alumni（全学同窓会）の支部設置にともない、支部活動活性化支援事業を開始しました。この事業は、学部間や異業種交流、アクティブ会員を増やす活動など、支部組織の活動活性化につながる企画に対してAlumniが経費的な支援をやるものです。

今回、募集・選考の結果、東京支部の企画が選ばれましたので、その実施状況を報告します。

岡山大学Alumni（全学同窓会）
東京支部 事務局長
（岡山大学法文学部 昭和51年卒）
竹原 啓二

今般Alumni支部活動活性化に関する支援を受けることとなり、東京支部では新しいOB会員の登録促進に取り組んでおります。

背景
近年、国立大学を取り巻く環境は、激変しております。この様な環境の激変期におきまして、私達OBの力を改めて結集して大学を支援していく必要があり、平成25年にこれまでの学部同窓会の活動に加え、学部横断の組織としてAlumniが発足されましたが、この活動をさらに全国各地に広めるべく、昨年は東京支部が設立されました。

具体策

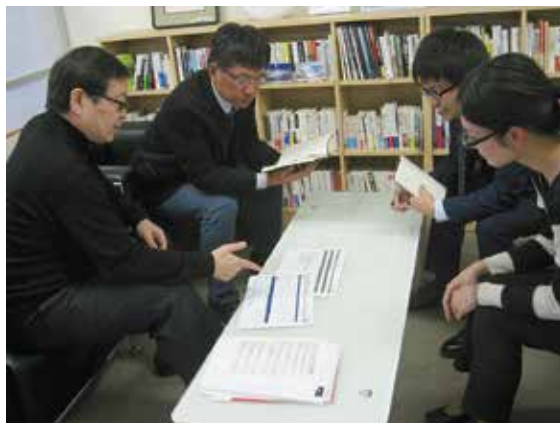
20代から50代のいわゆる現役世代のOBの皆様におかれましては、転勤、転居などで大学本部と連絡がつかない方も多くなっております、これまでは違う、SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）を活用した再登録、新規登録の仕組みにチャレンジしております。

Facebook (FB) の活用

まずは、FBを活用し、岡山大学出身者として登録されている方がFBを利用しますと、自動的に岡山大学のイベント、同窓会の告知、同窓会への登録案内等が告知されるといった具体的な手法を検討しています。当面、トライアル的に実施し、以降、効果検証を行う予定です。

皆様へのお願い

皆様のお近くで、同窓会の案内が来ない等の関東圏の方がいらっしゃいましたら、お気軽に左記の東京支部事務局までご連絡くださいますようお願い致します。



Facebook 活用の打ち合わせ

岡山大学Alumni（全学同窓会）
東京支部事務局
〒104-0031
東京都中央区京橋一丁目5-5
京橋共同ビル1階
（岡山大学東京サテライトオフィス内）
TEL: 03-62225-26005
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/satellite_office.html

グローバル人材育成支援事業

岡山大学Alumni(全学同窓会)は、事業の大きな柱として学生支援を掲げていますが、その一環として、グローバル人材育成支援事業を開始しました。自己のグローバル化に向けた自己啓発活動として、異文化理解やコミュニケーション能力の向上に資する大会等に参加する学生に対して奨励金を支給することにより、学生の自己啓発を促進し、ひいては岡山大学全体のグローバル化を推進することを趣旨としています。

今回、募集・選考の結果、奨励金支給対象者に選ばれた学生さんからの報告をご紹介します。



環境理工学部・
環境管理工学科 在学中

渋谷 直樹

私は、2014年8月1日から8月7日に渡ってカンボジアのプノンペンで開催された第5回国際学生リーダーシップフォーラムに参加しました。このシンポジウムは世界中、特にアジア地域から約700人以上の学生が集まり、

私も岡山大学・法学部の前田君、経済学部の佐々木君の3人で参加しました。このシンポジウムの開催趣旨は「持続可能な社会を目指し、世界で貢献する次世代リーダーの育成」で、主にスピーチ、ボランティア、国際交流で成り立っています。スピーチはCIN Heroesに選出された人物や、TEDに出演したことのある著名人により行われ、ボランティアに関しては、カンボジアの子供との触れ合い、環境保護に分かれて行われました。

今回のシンポジウムでの1秒1秒の時間の濃さは日本にいるときの何十倍もあり、今までの自分の人生の中で最も貴重な体験だったと断定できます。もちろん英語に関してはホテルのルームメイトも外国人であったため、起床の瞬間から寝る瞬間まで、どこにいて



も一日中英語漬けで、自分の英語の足りない部分、改善点を見つけ、大きな進歩を感じました。しかし自分にとって最も大きな収穫だったのが、自分の日常面での帰国後の変化であると思います。もちろんまったく新しい自分になれたとは言いません。たった1週間では大きく変わるものではないと思うからです。シンポジウム中は誰かまわす声をかけていた自分も、日本に帰ってからは行く前と相変わらずの大人しい生活をしています。でも内面では自分の変化を日々感じています。特にこのシンポジウム中は自分にとって未知なことや、抵抗のあることをたくさん経験したおかげで新しい視点を持

つことができたとし、「できなくてもいいからとにかくやってみる」という姿勢を身につけられたと思います。物事はやってみないと分からないものだと強く感じました。

今後はこのシンポジウムで学んだことを原点としていろんなことに挑戦していこうと思っています。



第2回 岡山大学 Alumni(全学同窓会) 総会

平成26年10月18日(土)、岡山大学津島キャンパスにある創立五十周年記念館において、Alumni総会を開催しました。平成25年10月にAlumniが設立されて以降、今回が2回目の開催となります。当日は約100名が出席し、第一部では、平成25年度事業報告および会計報告の他、実質的なスタートアップの年度となる平成26年度の活動計画および予算案等の議事が承認され



ました。また、第二部では、東京支部、愛媛県支部、国際同窓会の活動報告が行われ、岡山大学の同窓会活動が全国、全世界に広まっていることを、出席者に実感してもらったことができました。その後、岡大生協で開催されたウェルカムパーティーで、同窓生や大学教職員らが互いの旧交を温めました。次回の総会では、Alumniの事業により支援を受けた学生さんによる報告も行うことができると考えています。皆様ぜひご出席ください。

岡山大学ホームカミングデー

Alumni総会開催と同日の平成26年10月18日(土)、メイン会場の創立五十周年記念館およびその周辺他、各学部において「岡山大学ホームカミングデー2014」を開催しました。

を運んでいただき、大学の近況に触れ、在学生、同窓生、教職員との交流を深めてもらうイベントとして毎年開催し、今年で5回目を迎えました。

当日は晴天に恵まれ、訪れた約1,400人が秋の一日を満喫。ホームカミングデー学生チームが企画した同窓生と在学生が気軽に語り合える「思い出茶屋」、音楽系サークルによる「ミュージックフェスティバル」、同窓生と在学生らによる模擬店や美術展の他、各学部でも講演会や同窓会、農産物の収穫体験など多彩な催しが開催されました。

次回のAlumni(全学同窓会)総会およびホームカミングデーの開催日は、**平成27年10月17日(土)**(予定)です。同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様、ぜひお越しください！一般の方のご来場もお待ちしております。詳細はホームページ等でお知らせする予定です。

東京支部

平成26年度はAlumniにとって本格始動の年となりました。(丁度、この原稿を書いている時(平成26年12月)に、文部科学省より全国の国立大学に対して、今後、どの様な大学を目指すのか提出を求めるといふ報道がありました。ついに国立大学に待った無し(の正念場が訪れたのではないでしようか。)

平成26年7月25日、Alumniの第1番目の支部として、東京支部が設立されました。設立総会の後、法文経学部同窓会東京支部・工学部同窓会関東支部・Alumni東京支部合同同窓会が開催され、理、医、環境理工、農学部等も含め、約130名の同窓生で大変盛り上がりしました。

今後の東京支部の活動は、大きく次のとおりとなります。

- ① 学部横断の学びの場として岡山大学懇話会を年4回開催
- ② 各学部同窓会支部総会およびAlumni東京支部総会の開催※
- ③ Facebook等を活用し、関東在住のOBを発掘するシステムについての研究およびトライアルの実施
- ④ 産学連携事業、知の交流等により大学とOBの直接接点を増や



Alumni東京支部設立総会



岡山大学懇話会

Alumni東京支部 事務局 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目5-5 京橋共同ビル1階
(岡山大学東京サテライトオフィス内) TEL: 03-6225-2905
http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/satellite_office.html

し、両者の情報格差(危機感の格差)が埋まるような活動の実施検討
⑤ クラブの先輩後輩の縦ルートを活用したOBの発掘

OB各位におかれましても、是非〇〇のような活動をやってほしい等多様なご要望を事務局までお寄せいただければ幸いです。

※②の総会は、6月〜9月頃(大半年は7月後半)に、開催予定です。ぜひご参加ください。
(東京支部事務局長 竹原啓二)

Alumni 支部からのお知らせ

平成26年、岡山大学 Alumni (全学同窓会) に東京支部と愛媛県支部が設立されました。この2つの支部の活動の様子をお知らせします。

愛媛県支部

平成25年に岡山大学 Alumni が発足されましたこと、あらためてお喜び申し上げます。

愛媛県では、3年前から森田潔学長先生、小長啓一同窓会長様らのご指導により、「岡山大学松山同窓会」を開催致して参りました。Alumniの発足を機に、平成26年9月13日、「愛媛県支部」として、新しく発展・発足させていただきました。「東京支部」に次いで全国で2番目です。関係者一同大変誇らしく思っており、今後共同卒宜しくご指導の程お願い申し上げます。

支部結成に当たっては、だれしも聞き及んでいる岡山大学学生歌の「我らは集まり、半田山の山裾に・・・」の歌の文句を思い出していたたき、本支部の愛称を「愛媛半田山会」と銘打って県下卒業生の学部を越えたご賛同をすみやかに得る事ができました。全く有り難く思っております。支部会則などは、先輩の「東京支部」のものを参



岡山大学 Alumni 愛媛県支部 (愛媛半田山会) H26.9.13 於 いよてつ会館 設立総会並びに記念講演会

Alumni愛媛県支部 事務局
〒790-0052愛媛県松山市竹原町1丁目6-1 (貞本病院内)
TEL: 089-945-1471

考とさせていただきます。改めて厚くお礼申し上げます。今後は更に愛媛県を中心に岡山大学の発展と社会への貢献に寄与し、会員相互の交流と親睦を図って行くつもりでございます。

支部設立総会には、Alumni会長・小長啓一様、副学長・荒木勝先生、附属病院長・榎野博史先生らのご出席、松山市長・野志克仁様(平2経済卒)らの祝辞もいただきました。誠に有難うございました。
(愛媛県支部代表幹事 貞本和彦)

アクティブ岡大人



法学部法学科 在学中

岡田 美奈子

学生生活と倉敷小町

今号は、岡山大学の在學生と同窓生から、いま活躍しているお二方の様子をご紹介します。

私は岡山大学法学部に在学している岡田美奈子です。普段の学生生活では、憲法・民法・刑法などの法学を講義で学んでいます。また、私は国際法のゼミに所属していて、取り上げた最近の国際問題について調べ、ゼミで報告・議論をすることで国際法についてより理解を深めるため日々勉強をしています。法学の勉強は簡単ではありませんが、私たちが生活する今の社会にどのようなルールがあるのかを知っていき、問題を解決する方法を考えることはとても面白いのです。

そして、私は岡山大学で学生生活を過ごしながら、現在、第32代「倉敷小町」として活動をしています。「倉敷

小町」は倉敷市の魅力を全国にPRするため、倉敷市在住者などから募集をし、倉敷天領祭りの最終審査において毎年3名が選ばれます。私は去年の7月末、倉敷小町に選んでいただきました。倉敷をPRするお仕事

事といってもその内容は様々で、倉敷市内外で行われるイベントに参加し、お客様の前でPRをさせていただいたり、倉敷市の観光パンフレットを配布



いうわけではありません。実際に自分がその場所に行ったり、体験したりすることで、どんなことを感じ、何がいい思ったかということを私自身が感じるものが大切です。「倉敷にはどんなところがあるの?」と聞かれ、私がおすすめしたい倉敷の魅力を自分の言葉で一生懸命話して、「じゃあ、今度倉敷に行ってみるね」とお客様に言っていたときは本当にうれしかったです。心のこもった思いは、ちゃんと人に伝わるといふことを倉敷小町になって私は学びました。もつと倉敷の魅力発信して、一人でも多くの方に倉敷を訪れていただけたらと思う、これからも頑張っていきたいと思えます。



したり、時にメディアに出演したりもします。倉敷小町は倉敷の代表ですのでお仕事をする上でプレッシャーを感じることもありますが、「倉敷の魅力を多くの人に伝える」ということは本当にやりがいがあります。「魅力伝える」というのも、用意された文章をただ暗記して、それを言えばいいと

バイオマス産業都市「真庭」 地域資源をすべて使い切る 仕組みを目指す

真庭市産業観光部バイオマス政策課
(岡山大学工学部機械工学科
平成14年度卒)

森田 学



1. 岡大から市役所職員へ

岡山大学工学部機械工学科卒業後、真庭市職員となり、産業部門のバイオマス政策に携わっております。その取り組み状況を真庭市の概要も含めて紹介します。

2. 真庭市の紹介

平成の大合併により誕生した真庭市は、岡山県の北部中央に位置し、面積は828km²と県下最大で、蒜山高原や湯原温泉郷などの多様な観光名所があり、地域の約8割を森林が占め、その資源を活かした林業・木材産業が盛んな自然豊かな中山間地域です。

3. 地域産業を軸としたバイオマス利 活用の推進

地域産業関係者が連携し、長い年月をかけ「資源を無駄なく使いきる仕組み」の検討・実施がされ、主産業を軸とした民間主導のバイオマス事業が推進されています。

現在、バイオマス利活用の一定の基盤ができ、新たな事業展開も急速に進んでいるため、行政としても「真庭バイオマス産業都市構想」、「真庭市バイオマス活用推進計画」を策定し、より産業化に重点を置いた具体プロジェクトの推進を中心に、普及啓発・人材育成なども含め、地域の方向性を取りまとめ、新たな挑戦を始めているところです。

4. バイオマス産業都市「真庭」を目指す

まずは関係者での実験等を通じて、資源調達から流通までを含め、「木が燃料となる」ことや「有価で取引することの合意形成がなされ、バイオマスエネルギーの流通システムができました。現在では、事業所、農業施設、公施設等で、幅広くバイオマスエネルギー利用がされています。その地域経済効果としては、木質バ



手入れされた森



バイオマスツアー (銘建工業見学)

バイオマスによる石油代替量が1.6、000kl相当であり、重油を90円/ℓで試算すると、約14億円相当の資金を地域へ留められており、新たな地域経済循環が生まれています。

また、木質バイオマスエネルギー自給率が11.6%であることや、「バイオマスツアー真庭」として観光業への波及など地域へあらゆる効果をもたらしています。

市役所の役割としては、仕組みづくりの検討の場作り、関係者の連携調整などのサポート役であります。その際に、エネルギー関連の知識などを含め、岡山大学在学中に培った経験や、研究の際の創造力、諦めず継続して挑戦する気持ちなどが糧となっておりま

す。今後は、新たな推進エンジンとして1万kW木質バイオマス発電事業の開始や、より付加価値の高い木質系新素材の開発などを推進するとともに、木質以外のバイオマスも含めて事業展開を図ります。

5. 産学官の人材育成・交流

また、産学官連携による研究開発等の拠点として、地域のフィールドを活



バイオマス発電所建設中

用いただくことで、新事業の創出や地域内外の人材育成・交流へつなげることも重要と考えております。

岡山大学ともバイオマス産業の人材育成講座などを通じて連携しており、地域と大学がより近い関係になることで、新産業の創出へつなげられればと期待しております。

6. おわりに

地域産業を軸とし「あるものを活かして使い切る」仕組みを創り、直接的・間接的な効果を地域へ還元できる「バイオマス産業都市「真庭」として、地域全体の魅力を高めていきたいと思



バイオマス集積基地

岡山大学のサークル活動を紹介します。学生たちもがんばっています!!

学生の サークル紹介

岡山大学混声合唱団グリーククラブ

グリーククラブ第58代部長 工学部情報系学科在学中 石橋 和也



私たちは岡山大学混声合唱団グリーククラブです。歴史は長く1953年に岡山県下最初の大学合唱団として約40名の岡山大学生から結成された混声合唱団でした。

今年で創立62年を迎え1000人規模の団体になりました。みんな仲良く、そして日々メリハリのきいた練習に励んでいます。結成当時から常任指揮者は置かず、学生中心の部として学生

による曲作りを目指しています。時には団員同士で指導し合いながら、また声楽の先生をお呼びして合唱指導をしていただいたり、音楽家の先生をお呼びして指揮の指導をしていただきながら技術を日々磨いています。

平成26年度の活動としまして、夏には介護老人保健施設で訪問演奏を行い、普段合唱に馴染みのない方にも楽しんでいただくことができました。また、お客様との距離が近い演奏会を通して私たち自身歌うことの楽しさと歌をお客様に伝える喜びを味わうことができました。

そして、12月には第61回定期演奏会を行いました。一年にも及ぶ練習の集大成ということもあり、本番1か月前からピリツとした雰囲気練習に出ているのを部長として感じました。その緊張感からか回生を超えて詩の解釈について考えたり、録音した自分たちの

歌声を聞き反省したりとお客様に伝えることを意識して定期演奏会に向かうことができました。本番は無事演奏することができ、打ち上げでOB・OGの方や先生方に褒めて頂いたことがうれしかったです。

グリーククラブは歴史が長く、団員も多いため、多くのOB・OGの方がおられます。日頃の練習ではお会いすることはあまり無いですが、親声会というOB・OGが組織する団体があり、グリーククラブの運営を陰ながら支えてくださっています。

一昨年は5年に一度の記念の年でしたので合同ステージにおいてOB・OGの方と共に歌いました。OBの方による指揮や、OB・OGの方と一緒に

合唱はとても新鮮なものであり、老若男女が共に一つの音楽を作っている姿はとても感動的でした。

3年後(平成30年)にも記念定期演奏会がある予定なので、今度はOBとして参加してゆきたいです。



岡山大学通信

新たな憩いの場に「Jテラスオープン」



本学津島キャンパスに、カフェテラス「Junko Fukutake Terrace」(通称:Jテラス)が誕生しました。学生や教員、地域住民らの新たな憩いの場として、にぎわっています。

福武教育文化振興財団副理事長の福武純子氏の寄付で建設。設計は、建築家妹島和世さん、西沢立衛さんによるユニット「SANAA(サナア)」が担当しました。

平成26年10月18日にオープンした併設のカフェは、「CAFE Z」(岡山市南区)を展開する株式会社酒井プラニング(同)が運営。フランス料理風の総菜を「三段重」に詰め込んだランチや、ガトーショコラ、チーズケーキといったスイーツなど、素材にこだわったメニューが充実しています。

母親の肺の一部を分割して男児に移植 岡山大病院で世界初の手術

岡山大学病院は平成26年9月24日、特発性間質性肺炎の男児(2歳9カ月、埼玉県在住)に、母親の左肺の一部を分割して両肺として移植する手術に成功したと発表しました。肺として機能する最小単位の「区域」に分割して、移植する手術は世界初、2歳9カ月での生体肺移植は国内最年少です。

手術は同年8月31日に、呼吸器外科の大藤剛宏肺移植チーフを執刀医とするチームが担当。約11時間かけて、母親の左肺の下葉を区域に切り分けて移植しました。大藤チーフは「新しい術法の確立は、より多くの子どもや家族に希望を与える成果だ」と話していました。



まちづくりを促進

岡山市と地域連携協定締結

本学と岡山市は平成26年10月8日、市民協働のまちづくりを推進するため、「まちづくりに関する地域連携協定」を締結しました。まちづくりに大学生や地域住民が気軽に参加できる機会をつくり、西川緑道公園界隈を中心としたまちづくりを推進することを目的としています。

学内で開かれた調印式で、森田潔学長は、「大学生のパワーと教職員の知

識を活用し、活力に満ちたまちを作っていく」とあいさつしました。本学はまちづくりの活動拠点として、西川緑道公園沿いの伊達ビル2階(岡山市北区田町)に、「西川アゴラ」を同日に開設。岡山市の西川パフォーマー事業等と連携しながら、まちづくりやヒアリング調査などを行います。まちづくりに関する勉強会、ワークショップを行う場としても活用します。



学生、教職員ら総勢約300人出演 本学PR動画制作

本学企画・広報課は、米国人歌手ファレル・ウィリアムスの人気曲「HAPPY」に合わせて、学生、教職員が踊るミュージックビデオを制作しました。YouTubeの「岡山大学チャンネル」で公開しています。

森田潔学長をはじめ、学生、教職員ら約300人が出演。学生2人が学長に会いに行くというストーリーで、キャンパスの楽しい雰囲気や伝わる映像に仕上げられています。いちよう並木や中央図書館の時計台、鹿田地区のJホールなど、学内のさまざまな魅力的なスポットも登場します。「HAPPY」岡山大学バージョンの映像時間は4分で、公開期間は平成27年11月30日までです。



全学部で60分授業、クォーター制導入 平成28年度から

本学は平成28年度から、全学の学士課程教育において、60分授業・クォーター制を導入します。教育改革「学びを強化」を実現し、「鍛え抜かれた学生」を社会に送り出すことを目指します。

学生の修学時間、留学機会の確保、長期インターンシップの実現、入学から卒業までの教育の体系的再構築など、社会が長年大学に求めてきた課題を、本学として正面から受け止め実現して

いこうとするものです。60分授業化は、教育方法・指導の改善を一層進め、学生の自修を強化・充実させます。全学部で実施するのは、国立の総合大学としては、全国初の取り組みとなります。クォーター制は、長期の留学生の送り出し・受け入れ、長期インターンシップの実現を容易にするなど、学事暦の柔軟化を行うものです。

文科省の「スーパーグローバル大学」に採択 世界で活躍する『実践人』育成へ

文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業の支援対象に、本学の教育改革プラン「PRIMEプログラム」が世界で活躍できる『実践人』を育成する！が選定されました。

事業は「大学改革」と「国際化」を断行し、国際通用性、ひいては国際競争力の強化に取り組む大学の教育環境の整備支援を目的に、平成26年度から最大10年間に渡り、実施されます。

本学は、平成24年に国立大学初の国際バカロレア入試導入、その翌年にはグローバル人材育成特別コースを設置するなど、国際化に向けた大学改革を進めてきました。さらに、平成26年4月に専任の大学改革担当理事と学長補佐を任命し、改革を加速・強化してきました。本事業の支援を受け、世界トップステージで活躍できる人材を育成してまいります。

中堅・若手同窓生の ネットワークの充実を図る 卒業生フオーアアップセミナー

本学キャリア開発センターでは、岡山大学Alumni(全学同窓会)の協力のもと、学生の就職支援体制の充実、卒業生同士のネットワークの構築等を目的として、平成26年度に卒業生フオーアアップセミナーを3回開催しました。

1回目は9月12日。本学卒業生(昭和50年法文学部卒)で双日株式会社執行役員である倉田良純さんを講師に、「グローバル最前線！総合商社の現場」と題して開催しました。ケニア、サウジアラビア、フィリピン、タイ等での豊富な海外駐在の経験から、業務での苦労話やそこから学んだことなど、ユーモアを交えてお話いただきました。

2回目は11月28日。三菱総合研究所企業・経営部門統括室事業推進グループ主任研究員の大川真史さん(平成12年経済学部卒)を講師に、「研究しながら仕事する(産業のサービシ化を事例に)」と題して開催しました。製造業の最前線で活躍する企業の取り組みの

事例や狙いを、わかりやすく解説いただきました。

3回目は2月10日。三菱ふそうトラック・バス株式会社購買本部内外装・EPC購買部長の武田秀人さん(昭和54年法文学部卒)に、三菱自動車工業時代から現職に至るまで、購買部門のプロフェッショナルとしてグローバルに活躍されてきた経験をご講演いただきました。

講演後、開催場所である岡山大学東京サテライトオフィス近隣で交流会を開催し、世代の異なる卒業生同士が親交を深めました。

平成27年度は、Alumni東京支部主催のイベントとして継続開催していく予定です。

(キャリア開発センター 准教授 宮道力)



光化学系II複合体の正確な三次元原子構造を解明 人工光合成開発への糸口に

本学大学院自然科学研究科の沈建仁教授(同大光合成研究センター長)、菅倫寛助教、秋田総理助教、理化学研究所放射光科学総合研究センター利用システム開発研究部門ビームライン基盤研究部の山本雅貴部長、同生命系放射光利用システム開発ユニットの吾郷日出夫専任研究員らの研究グループ

は、X線自由電子レーザー(XFEL)施設SACLAを用いて、光合成による水分解反応を触媒する光化学系II複合体の構造を1.05Å分解能で正確に突き止めました。本研究成果は、平成26年11月26日、英国の科学雑誌「Nature」にLetterとして掲載されました。

コメのヒ素蓄積を 抑制する輸送体遺伝子 を発見

本学資源植物科学研究科の馬建鋒教授らの研究グループは、イネの輸送体タンパク質OsABC1が、コメ穀粒へのヒ素の蓄積を抑制することを世界で初めて突き止めました。本研究成果は平成26年10月20日に米科学アカデミー紀要電子版で公開されました。

ヒ素は微量でも摂取し続けると慢性毒性を生じる毒性元素です。主食であるコメからヒ素を摂取する割合が高く、その低減が求められています。研究で明らかになったイネ自身が持つヒ素の蓄積を抑制する仕組みを応用することで、その働きを高め、ヒ素蓄積の少ないより安全なイネ品種の開発につながると期待されます。

岡山大学創立五十周年記念館維持管理寄附金執行状況報告

(平成25年度末現在 単位:円)

年度	寄附繰越額	執行額	執行残額	執行内訳
平成16年度	47,580,000	5,192,425	42,387,575	光熱水料等(3,384,132) 人件費(1,808,293)
平成17年度	42,387,575	1,836,042	40,551,533	人件費
平成18年度	40,551,533	1,824,733	38,726,800	人件費
平成19年度	38,726,800	1,842,092	36,884,708	人件費
平成20年度	36,884,708	157,337	36,727,371	人件費
平成21年度	36,727,371	0	36,727,371	
平成22年度	36,727,371	2,478,000	34,249,371	空調設備改修
平成23年度	34,249,371	0	34,249,371	
平成24年度	34,249,371	856,800	33,392,571	空調機保守点検 他
平成25年度	33,392,571	12,300,802	21,091,769	映像デジタル化設備 他

学 部等同窓会からの お知らせ

※掲載希望のあった同窓会のみ掲載しています。

法文経学部同窓会

岡山大学法文経学部同窓会員数は平成26年3月末で約3万人に達しており、岡大内で最も多数です。その岡山総会は毎年7月の第一金曜日に、全国10支部の開催に先立って開催されます。

平成26年度の岡山総会は去る7月4日(金)に、ピュアリティまきびにて開催されました。会場は160名超という参加者で満員となりました。議事に続いて講演に移り、昭和38年法文学部法学科ご卒業の竹崎克彦氏(株式会社百十四銀行会長、本店高松市)が「地方銀行に求められるもの・目指す方向」と題して、「地方銀行は地域に密着して、地域の課題を解決することが求められている。」と話されました。次いで、会食に移り、来賓の各学部長、科長より岡大の現況報告がありました。母校の発展の様子を聞いて心強く思うとともに、60歳以上の世代を超えての歓談に愛校心と絆を一層深めました。最後に岡山大学と法文経学部同窓会の発展を祈念して万歳を唱和しました。

(監事 高橋義雄)

鶴翔会(岡山医学同窓会)

鶴翔会は、昭和7年、社会が期待する「よき医師・よき研究者」を目指すため、教職員、卒業生、医局員、在学生を一体とした岡山医学同窓会として設立されました。以後、医学部とともに歩を進め、現在約9、500名の会員が活躍しています。

【平成27年度鶴翔会総会】

平成27年6月6日(土)
13時～20時 岡山プラザホテル
連絡先：鶴翔会事務局
〒700-085508

岡山市北区鹿田町2-5-1

TEL：086-2357060

FAX：086-2357052

dosokai@md.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/mdosokai/>

HP充実のため、ご意見をお寄せください。また、支部総会等の活動については、HPに掲載している各支部連絡先へお問い合わせください。
【医学部創立150周年に向けて】
医学部は平成32年に創立150周年を迎えるにあたり、創立150周年記念事業実行委員会を組織し、検討を進めております。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

<http://www.med150h.csv.okayama-u.ac.jp/index.html>

ときわ会(看護学)

前会長の富田幾枝氏の後を引き継ぎ、平成25年8月から会長を務めさせていただいております保科英子です(看護34期生)。平成26年6月末現在のときわ会員は、1120名。大正12年に卒業生をだした岡山医科大学附属医院産婆看護婦学校から、岡山大学医学部保健学科までの長い歴史の継続です。この継続の力を決して途切れさせてはならないと思っています。平成25年から会費8、000円の終身会費制となりました。ホームページに詳細が載っています。その他、リレーエッセイの復活、平成25年8月の総会の様子、保健学科看護学専攻の学生さんたちの活動記事も掲載されています。

「ときわ会 岡山大学」で検索をかけてみてください。



平成26年10月 ときわ会役員会 岡山大学病院会議室にて

助産師同窓会

●岡山大学助産師同窓会の会員数は、平成26年4月の時点で955名です。

●平成25年度で学部での助産師教育を終えました。平成26年3月に、学部教育最後の助産学専攻生10人(2期生)が卒業しました。

●平成24年4月より大学院修士課程で助産師教育を行っており、平成26年3月に1期生6人が無事修了し、国家試験も全員合格しました。

●平成26年4月の時点では、1年生が7人、2年生が6人在籍しています。岡山県内の子育て支援のイベントで、学生たちは助産師同窓会の先輩方と一緒に地域での子育て支援活動を行い、交流を深めています。

●平成25年9月28日(土)に定時総会(5年ごとの開催)が開催されました。同窓会の開催にあわせて同窓生の住所の確認を行い、5年に一度同窓会名簿を作成しています。会員の皆様のご協力にて昨年6月に最新の同窓会名簿が完成しました。会費を納入された同窓生の方には名簿をお送りしています。

歯学部同窓会

平成27年1月現在で岡山大学歯学部同窓会正会員数は1,800名を超え、卒業生は全国各地で歯科医療、行政、研究、教育などの場で活躍しており、本会の規模が年々拡大しています。同窓会本部のみならず岡山県支部、兵庫県支部、大阪府支部、奈良県支部、京都府支部、北海道支部、関東地区支部、東海地区支部、近畿地区支部、広島県支部、九州・沖縄地区支部、大学支部が設立され、各地で充実した活動がなされています。昨年は、愛媛県支部が設立されました。現在、香川県支部の設立に向けて準備が進んでいます。毎年7月には、年に一度、同窓会本部、支部・地区支部ならびに代議員会の役員が岡山に集まり、同窓会役員連絡協議会を行っています。今年は、7月11日(土)に同窓会役員連絡協議会の開催を予定しております。また、翌日の7月12日(日)に総会を開催する予定です。どうぞ岡山にお集まり下さい。今後とも本会の運営に対するご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

工学部同窓会

工学部同窓会は今季「岡山支部」と「関西支部」を設立し、既設の「関東支部」と合わせて三支部を有することとなりました。

岡山支部は、昨年八月に設立総会を行い、原則として第三土曜日に毎月懇親会と例会を行っています。

支部の目的は、①懇親、②社会貢献や企業支援、③工学部と在学生への支援等を掲げています。詳細は、岡山支部ホームページをご覧ください。
(<https://okayama-u.sakura.ne.jp/home/>)

関西支部は、昨年十月に、大森勝氏(電気二期卒)が中心となり設立総会を行い、岡山支部と同様な支部の目的を掲げ活動を始めました。その後、幹事会、懇親会を開催し今後の運営について話し合っています。今後、各支部が、会員のオアシスとして機能し、懇親を深め、これまでの経験を活かした新しい活動が生まれることを願っています。また、その他の地域での支部設立を支援していきたいと思っています。(代表幹事 酒井貴志)

環境理工学部同窓会

環境理工学部同窓会は学部4学科の同窓会から構成されています。ここでは、平成26年度に開催された各学科同窓会イベントについて紹介します。

岡山大学ホームカミングデイ2014(10月)において、環境デザイン工学科同窓会(岡山大学環会)の後援による同窓生と在校生の交流会が本年も開催されました。今回は、岡山大学元学長・河野伊一郎氏による特別講演も行われました。また、環境物質工学科同窓会は「学科20年の歩み」と題した学科創立20周年記念イベントを開催し、50名の会員が交流を深めました。

平成27年1月には、環境管理工学科同窓会(岡山大学拓水会)が定例総会を行い、会誌50号の発行記念祝賀会が合わせて開催されました。

なお、平成26年度から環境理工学部同窓会長(代表幹事)には環境数理学科同窓会の有岡桂佑氏が就任されています。引き続き、卒業生の皆様方の一層のご協力とご支援をよろしく申し上げます。

農学部同窓会

農学部同窓会広島支部(代表幹事・蔵尾公紀 生機・遺資 平成7年卒)は、今年予定されているAlumni広島支部の設立に向け協力しています。また、昨年Alumni東京支部設立の動きに連動して、農学部同窓会関東支部(代表幹事・中川襄一 農工昭和28年卒)が設立されました。設立総会には会員約40名の他、Alumniの小長会長、岡大東京サテライトオフィスの加本氏、本学部の多田名誉教授(農学部同窓会副会長)と上村教授(代表幹事)が出席されました。その後の祝賀会は講座、学科を越えた新たな出合いの場となり、支部同窓会の発展を願う学生歌を歌いました。農学部同窓会では現在、松山支部(愛媛県支部)設立に向け、諏訪玄氏(農化 昭和52年卒)が中心となって賛同者を募り、大阪でも日野智和氏(農化 昭和59年卒)がキーパーソンとして、Alumni大阪支部設立に向け協力しています。ご協力いただける方は事務室までご連絡ください。なお、農学部同窓会名簿(有料)をご希望の方もご連絡ください。

農学部同窓会事務局

086-2511-8285

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/dousokai.htm>

国際同窓会

国際同窓会は、平成23年の設立以来、帰国留学生のネットワーク構築の一環として支部・通信拠点の設立を進めており、現在13か国において28か所(通信拠点1か所を含む)が設立されました。当初目標の50か所を目指し、今年には欧米にも注力していく所存です。各支部では活発に活動を展開し実績を上げており、平成26年10月開催の第4回総会では、21名の同窓生が各支部の活動等を発表しました。各支部の本学留学生受入れに対するご尽力により、これまでに多くの留学生が入学しました。平成27年10月開催予定の第5回総会では、これら各支部長等から苦労話などを発表いただけたものと期待しております。また、トルコの支部設立がきっかけとなり、トゥルグット・オザル大学とジルベ大学との交流協定締結が平成26年末に成就しました。ジルベ大学では、本学の二宮善文先生のお名前を冠した研究室が設置され、岡山大学の名を広めていただいている実績を確認できました。今後も各地からこうした報告を多数お伝えできるものと確信しておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。(会長 張 紅)

寄稿 学生歌

(前号の訂正とお詫び)

岡山大学Alumni
(全学同窓会) 理事

川本 一之

田山」という学友会誌創刊号(1966年刊行)岡山県立図書館蔵)に寄稿されていました。

この中で「警察予備隊が岡大を接収の噂は私には大変くらい気持ち悪いだかせた。その噂がしきりにながされたのは冬だったかもしれない。学生歌の第一連は、そういう私のせつぱつまった気持ちを少しひかえめに表現したもの」と綴り、「あの学生歌は岡大創生期の社会的背景や学内のふんいきをぬきにして考えることはできない」。こうした思いが

我らは集まり 半田山の山裾に
木枯らしがささぶ中を

我らの学舎を守ろう

お、岡大 我らのもの
—という表現になったのです。

前回、「岡山大学50年小史」で目にとまった「教職員、学生が敷地内に入り、徹夜で管理し、守った」というくだりとこの歌詞とを短絡的に結び付けたため、指摘いただいたような間違いを犯してしまいました。この紙面をお借りして、お詫びし、訂正させていただきます。

「20年史」や「50年小史」、学友会誌、大学新聞などから歩みを振り返りますと、大学の誘致から創立前後、そして混乱期、様々な逆風に立ち向かい守り抜いていただいた先人の努力に感謝せずにはおられません。

その多くの方々の思いが「我らの学舎を守ろう」という歌詞にこめられているのも確かでしょう。

昨秋のホームカミングデーで、応援団総部が声をからして歌う学生歌を聞きながら、「守ろう」の精神はしっかりと引き継がれ、息づいていると確信しました。

Alumni会報創刊号の6〜7頁で取り上げた「学生歌」の経緯について、「時代背景が違うのではないか」という指摘をいただきました。当時を知る先輩や残された資料から、指摘のように大学創立時から数年後の社会、政治情勢が歌詞に反映されていることが分かりました。訂正の意味をこめて、もう一度紹介させていただきます。

指摘頂いたのは第1期の森上勝彦さん(84歳)倉敷市在住。「この歌ができたころは警察予備隊(後の自衛隊)の基地にキャンパスが取られるのではという情報が飛び交い、大学が無くなるのではという不安が学内に渦巻いていたと記憶している」。この警察予備隊が新設されたのは1950年、朝鮮戦争が勃発した年。翌年サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約が調印され、次の年には破壊活動防止法。「(新聞部の編集長をしていた)自分自身もCICという情報機関から尋問を受けるし、学内外は大変な状況だった」と森上さんは思い起こす。

この学生歌の誕生は社会が揺れ動く真つ只中の1953年9月。学友会が学生から公募した中から2期生の三沢信弘さんの作品が選ばれました。三沢さんは既に他界されていますが、「半

「岡大アラムナイネット」を開設しました! ぜひご登録ください。

登録料・利用料
無料

「岡大アラムナイネット」は、岡山大学の同窓生、在学生、教職員、教職員OB等を対象とした交流ウェブサイトです。ご登録いただくことで下記のような利用が可能になります。また、このネットワークを活用した、在学生に対する就職支援ネットワークの構築も目指しています。

- 岡山大学 Alumni (全学同窓会)、岡山大学、学部同窓会等からの情報を受けることができます。(イベント情報、大学の動き等)
- 「岡大アラムナイネット」に登録した会員同士で、ウェブ上の交流が可能になります。※ご希望の方のみ 他

詳細および登録申請は岡山大学 Alumni (全学同窓会) 公式ホームページをご覧ください。

岡大アラムナイ 検索

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 公式ホームページ



「岡大アラムナイネット」をクリック

会費納入の お願い

岡山大学 Alumni (全学同窓会) は、岡山大学の同窓生、在学生、教職員、教職員OBの皆様からの会費を財源として、各種支援・運営等の事業を実施しています。会費未納の方は、Alumniの活動をご理解いただき、ぜひ納入をお願いいたします。納入方法は、ホームページまたはAlumniまでお問い合わせください。終身会費：10,000円

注意喚起!

- ・同窓生の皆様のご自宅に、郵便局(員)をかたる不審な電話があるとの情報が寄せられています。「岡山大学から、本人受取限定の郵便物が届いているので、連絡をして欲しい。」「岡山大学から、本人受取限定の郵便物が届いているので、同窓生の現住所や携帯電話番号を教えてください。」というものです。岡山大学(同窓会)から、本人受取限定の郵便物は発送しておりませんので、このような電話には対応しないようご注意ください。
- ・「岡大ジャーナル新聞会」と称する団体から、同窓生の皆様へ取材や購読依頼があるとの情報が寄せられていますが、この団体は岡山大学とは一切関係がありません。本件に関するお問い合わせは、学生支援課(086-251-7182)までお願いします。
- ・「人事新報社」「学芸出版(株)」と称する企業から、同窓生の皆様へ同窓会名簿の作成を案内し、購入を呼びかけるダイレクトメールが届いているとの情報が寄せられています。この団体は岡山大学とは一切関係が無く、個人情報や名簿購入の有無について返送する義務は一切ありません。万一返送されても岡山大学では責任を負いかねますのでご注意ください。

住所変更等ご連絡のお願い

会報を皆様のお手元に確実にお届けするため、お名前・ご住所等を変更された場合は、Alumniまでご連絡ください。ご連絡いただいた情報は、皆様の所属学部等同窓会にも連絡させていただき、適切に管理いたします。

氏名(新・旧)、住所等連絡先(新・旧)、卒業学部、卒業年度

発行

岡山大学 Alumni (全学同窓会)

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号(岡山大学 総務・企画部 企画・広報課内) TEL:086-251-7019 FAX:086-251-7294

E-MAIL: ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp URL: <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/index.html>

- ・本誌へのご寄稿およびご意見・ご感想をお寄せください。
- ・会報の送付は、発送元や内容を明らかにして、会員の皆様に安心してお受け取りいただけるよう、また、デザイン性やコストなどを考慮して透明封筒を使用しております。

中国銀行のインターネット支店(晴れの国支店)で口座開設して

岡山大学を応援しよう!

OKAYAMA UNIV.

中国銀行 晴れの国支店のオリジナル機能
「応援投票」で岡山大学に投票すると、
投票数に応じて中国銀行から寄付金が贈呈され
岡山大学在学生への応援となります。

- インターネットの晴れの国支店は、便利でおトク!
- コンビニ ATM 優遇
 - 来店不要でお引き
 - 振込手数料優遇



晴れの国支店なら、学生もおトク!

学割 仕送り受取口座指定で
コンビニATMの出し手数料が
月3回まで無料! (指定時間内)

奨学金
最大 1,500円分の商品券が毎年もらえる!

<http://www.chugin.co.jp> 晴れの国支店 検索

スマートフォンはこちらから ▶



あしたも、いっしょに。



《お問い合わせ先》 ☎ 0120-234-273 または ☎ 086-801-2080 (通話料有料)

[受付時間] 平日/9:00~20:00 土・日・祝日・休日/9:00~17:00 ※1月1日~3日、5月3日~5日、12月31日を除きます。

(平成27年2月末日現在)